

## FDG-PET/CT 検査に関する説明書

D04512

## 説明内容

## 1. 検査について

ブドウ糖は、成長が早く、活発に活動する臓器(脳・心臓)や腫瘍(肝がん・乳がん・大腸がん・頭頸部がん・膵がん・悪性リンパ腫・悪性黒色腫・食道がん・子宮がん・卵巣がんなど)に集まります。PET検査は、このブドウ糖の一種に放射線を出す物質をつけたお薬(FDG)を注射し、体の外からその放射線を計測して、集まり具合を画像にします。同時にCTでより正確な場所を決定します。PET/CTは、がん検診で行う場合、早期発見が期待されます。

## 2. 検査の安全性と危険性

この検査に使用のお薬による重篤な副作用の報告はありません。また、検査の被ばく量は胃のバリウム検査とほぼ同等で、身体への放射線による悪影響はありません。ただし、妊娠している方の検査はできません。また、授乳・育児中の方は、当日の授乳と乳幼児との接触は控えてください。

## 3. 検査を受けるにあたり次の点をご理解ください。

- FDGは、糖代謝の盛んな脳や心臓に強く集積します。また、尿として排出されるので、腎臓や尿管、膀胱に強く集積します。このためこれらの臓器の診断は難しくなります。
- FDGは、炎症や甲状腺腫、大腸腺腫などの良性疾患にも集まります。
- この検査では、5mm以下の小さながんや糖代謝の低いがん、また肝細胞がんや胃がんなどのようにFDGが集まりにくいがんは、診断できないことがあります。
- 診断は、PET検査だけで確定するものではありません。このため今回の検査で異常所見がみられた場合、診断のために更に他の追加検査が必要となる場合があります。

## 4. その他

検査機器の保守点検、検査薬の輸送体制には万全を期しておりますが、万一機器のトラブル・輸送中の事故などの際には撮影ができなくなる場合があります。その場合は、後日もしくは時間を変更して検査をさせていただきますので、ご了承ください。  
検査の保険適応は制限されており、疾患や目的によって検査費用は患者さんの自己負担になることがあります。

上記の通り説明いたしました。

説明日 年 月 日

紹介元医療機関名

検査依頼医師名 科 氏 名

上記の説明文を熟読し、さらに担当医師からも口頭による説明を受け、内容について理解できました。

患者本人

代諾者 (患者本人との関係: )

年 月 日 氏 名(自筆)

署名不能 理由 [  患者本人意思表示可だが署名不能  その他( ) ]

(注)医療者の代筆署名不可。